

令和2年第14回女川町教育委員会会議録

- |    |             |   |
|----|-------------|---|
| 1  | 招集月日        | 令和2年12月23日(水)   |
| 2  | 招集場所        | 女川町生涯学習センター 研修室2  |
| 3  | 出席委員等       | 1番 横井 一彦 委員<br>2番 阿部 喜英 委員<br>3番 新福 悦郎 委員<br>4番 中村 たみ子 委員<br>村上 善司 教育長  |
| 4  | 欠席委員        | なし  |
| 5  | 説明のため出席したもの | 教育総務課長 伊藤 富士子<br>生涯学習課長 中嶋 憲治   |
| 6  | 本委員会の書記     | 教育総務課 課長補佐 今村 等   |
| 7  | 開 会         | 午前10時00分  |
| 8  | 会期の決定       | 会期は本日1日限りといたします。  |
| 9  | 前回会議録の承認    | 教育長 はじめに、前回の会議録の承認の件をお諮りします。<br>すでに配布されておりますが委員の皆様方何かお気づきの点はありませんか。<br>無いようですので、承認とさせていただきます。   |
| 10 | 会議録署名委員の指名  | 教育長 3番 新福 悦郎 委員<br>4番 中村 たみ子 委員 よろしくお願ひいたします。   |
| 11 | 報告事項        | 教育長 本日は、協議事項等がございませんので、5番の「報告事項」に入らせていただきます。<br>はじめに、私からご報告いたします。よろしくお願ひいたします。<br>資料は、「女川町教育委員会会議教育長報告事項」と「別添資料」、それから、「第23回女川町新型コロナウイルス感染症対策本部会議」の写しの3部を配布しております。それに基づきまして報告をさせていただきます。<br>はじめに、前回の総合教育会議で大変貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。<br>その総合教育会議の席上でも町長からお話ございましたが、長い間ご尽力をいただきました阿部喜英教育委員が、令和2年12月31日をもってご勇退されることになりました。これまで |

のご尽力に改めて感謝を申し上げる次第でございます。

ここに細かく書かせていただきましたが、私から申すまでもなく、東日本大震災発生直後の女川町の教育復興に中心となられてご活躍されました。あの当時のことが鮮明に思い出されますが、今の土台をつくっていただいたと言っても過言ではございません。また、女川町観光協会会長、そしてこのたびは、第2期女川町復興連絡協議会会長にご就任されるということで、本当に残念でございますが、12月31日でご勇退という運びとなりました。

ここに個人的な感情が入りますということで書かせていただきましたが、これは偽りのない心境でございます。

どうぞこれからも、本町の教育に俯瞰的な目でよろしくご指導をいただければと願っております。長い間、本当にありがとうございました。

続きまして、「第2学期終了」と書かせていただきましたが、小学校は、昨日終業式を終えたところでございます。テレビでも4社ほどで放映がありました。中学校は、25日に終業式の予定でございます。

そこに今年1年のことを振り返るようなことを書かせていただきました。何よりも今年は、2月中旬から全世界を騒がせております新型コロナウイルス感染症に、この表現が適切かどうか分かりませんが、振り回された1年だったなと思っております。そして、今や「第3波」到来と言われております。

2ページに入らせていただきますが、4カ月前に「第2波」の中で、まさに新型コロナウイルス感染症感染予防に配慮しながら、施設一体型小中一貫教育学校の落成式が行われたところでございます。そして翌々日から子供たちが登校してまいりました。新校舎や人工芝のグラウンドに歓声をあげている姿が今でも目に焼きついております。

当初は、登下校など本当に不安なところもあったのですが、あれから4カ月が経過し、登下校も含めまして、新校舎での生活が板についてきたなと思っております。

先生方をはじめ、関係の皆様には本当にご苦勞をかけましたが、何とかここまでたどり着くことができましたことに、改めて感謝を申し上げるところでございます。

今年は、女川町でも珍しく12月に積雪がありました。小学校、中学校では、早朝から雪かきや融雪剤散布など職員が一丸となって子供を迎えている姿を何度か見ることもできました。

また、朝の登校時も、地域の皆様方には、寒い中、声かけ等をし

ていただきました。ただただ頭が下がる思いでございます。  
中学校の伊藤校長先生が「仏作って魂入れず」という言葉を話して  
おりましたが、真価が問われるのはこれからでございます。  
コロナ禍はまだまだ続く状況でございますが、学校、そして教育  
委員会が一丸となって、また、保護者の皆様方のご支援をいた  
だきながら、頑張っまいると思っております。  
それから、ご存じのように、宮城県で新型コロナ危機宣言が発せ  
られたところでございます。

「別添資料」の1ページにその内容等について掲げております。  
マスコミ等でも取り上げられておりますので、教育委員の皆様も  
ご承知のことと思っておりますが、五つのお願い事等が記されてお  
りました。これから愚直に新型コロナウイルス感染症感染防止に努  
めてまいりたいと思っております。

「教育長報告事項」3ページに入らせていただきます。  
小学校、中学校は、第2学期の締めの方ということ、いろいろ  
テスト等もあったのですが、ここにあるような行事等がありました。

小学校からまいりますが、まず、12月1日に学力テストを行  
ったところでございます。

それから、このコロナ禍の中ではございましたが、福島県須賀川  
小・中学校の先生方に学校視察を行っていただきました。

12月10日には、サッポロホールディングス様からプログラミング  
教材(キット)を贈呈いただき、その贈呈式を行わせていた  
だきました。金額にして200万円ほどのキットを贈呈いただいた  
ところでございます。実際に教材を活用している様子などもサッ  
ポロホールディングスの皆様に見ていただきました。大変喜ばれて  
お帰りになりました。

それから、15日、議会開会中だったのですが、特別支援学級の  
クリスマス会が行われたところでございます。毎年先生方は工夫  
をされて、そして子供たちの成長の姿を伺うことができたという  
報告をいただいております。

小学校は、今日から1月7日まで冬休みとなります。

11月の在庁記録につきましては、「別添資料」2ページに掲げて  
おります。小学校は、教頭先生が90時間をオーバーしてござ  
います。あとはほぼ落ち着いてきたところでございます。

「教育長報告事項」4ページに入らせていただきます。  
中学校でございますが、12月7日から11日まで三者面談が行  
われました。後で進路関係のお話をさせていただきますが、第3学

年の生徒は進路がほぼ固まってきたところでございます。  
それから、学力テストが中学校でも行われました。  
同じく、クリスマス会も小学校と一緒に行われたところでござい  
ます。

コロナ禍の中ではございましたが、毎年行われているアンサンブ  
ルコンテストに女川中学校も出場しました。結果、銅賞ではござ  
いしましたが、これに向けて一生懸命になって練習する姿がありま  
した。頑張った子供たちに、大きな拍手を送ってあげたいと思っ  
ております。

中学校の在庁記録につきましては、「別添資料」3ページをご覧  
になっていただきたいと思えます。

この中で藤岡先生と吉田先生の時間が多いのですが、藤岡先生は  
部活動の指導、アンサンブルコンテスト等もありました。吉田先  
生も、部活動等の時間がこのような形になっております。以前と  
比べると、全体的には在庁記録の時間は短くなっている、この傾  
向をこれからも続けていきたいと思っております。

「別添資料」4ページは、英検を受けた第2学年の記録でござい  
ます。団体成績表ということでいろいろ細かく出ているのですが、  
そこの平均スコアに、今回609、前回677、前々回505という平  
均スコアが出ております。もうひと踏ん張りかなと思っております  
が、600点をまずは超えたということで、報告をこのように  
いただきました。

レベル的には、まだ5級のレベルということで、前回は4級のレ  
ベルだったと記憶しております。

「別添資料」5ページが、現時点での第3学年の進路希望状況一  
覧でございます。

今年の特徴は、仙台圏に特待生で行く、あるいは、日本ウェルネ  
ス宮城高等学校に1名行く、あるいは仙台市内の高校に行くとい  
うことで、進路先が、去年はほとんど石巻管内だったのですが、  
多方面というか、広がったなど見ております。

その中で、私立でございしますが、仙台育英学園高等学校の外国語  
コースは、校長推薦ということで、合格が内定しております。  
それから、日本ウェルネス宮城高等学校、委員の皆様方もご承知  
のように、本年度からサッカーの枠ができます。そこに1名、特  
待生で行くことになっております。

それから、(仮称)支援学校仙台みらい高等学園、宮城県立支援  
学校女川高等学園と同じような特別支援学校の私立学校でござい  
ます。宮城県教育研修センターが宮城教育大学のそばの青葉山に

あったのですが、その跡地にこの4月から開校する特別支援学校でございます。そこに1名、特別支援学級の女子生徒が合格いたしました。大変喜んでいただいております。志望者も結構多く厳しい状況だったのですが、関係の方から、総合的にはトップクラスの成績でしたと大変お褒めの言葉を頂戴したところがございます。個人情報で恐縮ですが、第一志望が県立支援学校女川高等学園になっておりますので、頑張りたいと思っております。以下、このような形になっております。いよいよ本格的にスタートしますので、頑張りたいと願っております。

「別添資料」6ページが、ランチルーム給食です。小学校との交流などをやりたかったのですが、まだコロナ禍ということで、まず学年でランチルームを利用しました。そこに生徒の声を載せております。中には、教室で食べたいという声も当然のようにありました。ただ、こういう声を大事にしながら、第3学期は、コロナ禍の中ではございますが、小学校と中学校と一緒に食事をするなど、計画をしているようでございます。

参考までに生徒の声を載せております。

「教育長報告事項」4ページに戻らせていただきます。

小学校、中学校とも、第3学期は、女川の教育を考える会、小・中学校合同のフリー参観、1月29日には立志の会を予定しているところがございます。

続きまして、5ページに入らせていただきます。

これは新聞等で大きく取り上げていただきましたが、乗り入れ授業、音楽と英語、「別添資料」の7～8ページに新聞記事を掲げておりますが、大変好評でございました。特に英語指導では、電話をいただきまして、「これは非常にいいですね」と。「こういうことをきちんとやっておけば、中学校に行ったら楽でしょうね」と。その後、「成績も上がるでしょうね」と言われて、そのようになればいいのですがということで、本当にお褒めの言葉を頂戴したところがございます。ここに記事載せております。

それから、「別添資料」9ページは、12月現在のスポーツ少年団、人数等少ないのではないかとのお声もあったので、載せております。

ここにありますように、団員は、小学校、中学校合わせて今50名スポーツ少年団に所属している状況でございます。もちろん石巻市内のスポーツ少年団にも入っている子供たちもおりますが、町内のスポーツ少年団に在籍している児童生徒は、50名ということになっております。何かの参考にいただければと思いま

す。

それから、マスコミ等で取り上げられておりましたが、大川小学校であるような被害があった後に、防災体制在り方検討会議というものを宮城県で立ち上げて、そこからの報告書がありました。これについては後で教育総務課長から報告してもらいますが、これを受けまして、危機管理マニュアル等をもう一回見直そうということで、昨日、校長先生方をお願いしたところでございます。次に、議会関係でございます。12月議会が14日から16日まで開会されました。詳細につきましては、教育総務課長から説明をさせていただきます。

それから、第5回教育長会議が11月27日に行われたところでございます。人事異動業務が本格化しましたので、人事関係の話が多かったです。

それから、第23回を数えますが、町の新型コロナウイルス感染症対策本部会議が12月17日に行われたところでございます。

これにつきましては、先程もお話をさせていただきましたが、「別添資料」にその資料の一部を添付しております。後でお目通し等をいただければと思っております。

町長からは、感染はどこでも起きる状況にある。なったらそれ以上ならないように、なる前に防止しよう。何よりも感染拡大防止を行おうというお話があったところでございます。あと、年末年始は他者とのかかわりが多くなるので、休業中の体制、あるいは連絡体制をしっかりと確認してほしい旨のお話があったところでございます。

「教育長報告事項」6ページに入らせていただきます。

12月18日の第2回女川町総合教育会議では、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。いただいたご意見を踏まえて、特に生涯学習課関係が多かったのですが、前に進んでいきたいと思っております。

それから、町長レクというものがあまして、特に教育総務課学務係が所管している案件で次年度確認したいこと等があったので、町長にレクをさせていただきました。

これは「別添資料」の10ページから添付しております。

細かいことについては省略させていただきますが、1番目が、基礎学力充実支援事業、いわゆる英語検定、数学検定、漢字検定等の補助でございます。この補助率を一部見直したということ。それから、被災児童生徒就学援助費の事業継続について。

11ページに入りまして、学校給食運営審議会の委員。ご案内の

とおり校長が1名になるということで、その改正案を町長にレクしたところでございます。

12 ページは、カタール国との交流事業の今後の調整。現在コロナ禍の中なので、そこにもありますように、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、今後の可能性について探りたいというようなお話をさせていただきました。

以下、学校医報酬額の改定、それから、総合教育会議で話題となりました女川向学館事業について、レクをさせていただきました。

13 ページは、女川向学館にもいろいろとご支援をいただいております、A I 型教材「Qubena」の今後の活用についてということで、これまでは一つの授業の中で行っていたのですが、アプリ代などが発生してくる。それで、小学校は4年生以上、中学校は全学年で使用するとこのくらいの費用が掛かるというようなことを報告させていただきました。この方向で進んでいきたいと思っていますところでございます。

「教育長報告事項」6 ページに戻らせていただきます。

おととい校長・教頭会議がございました。「別添資料」14 ページにあるようなことを中心に、いろいろお話をさせていただいたところでございます。

「教育長報告事項」6 ページの10 番、生涯学習関係については、生涯学習課長から配布資料に基づきまして、後で報告がございません。

その他、ここにあるようないろいろな会議等がありました。

7 ページに入らせていただきますが、P w C コンサルティング合同会社次世代のまちづくり推進に向けた包括連携に関する協定書締結式及びパネルディスカッションが12月1日に行われたところでございます。このパネルディスカッションでは、阿部喜英委員がパネラーとして参加し、すばらしいお話を頂戴したところでございます。

それから、12月4日に青森県のJ A津軽みらい・りんご贈呈式。これは震災直後からずっとでございますが、小学校にりんごを頂戴したところでございます。今年はコロナ禍の中で組合長さんなどはいらっしゃらなかったのですが、代わりに、石巻青果市場の代表の方から目録をいただいたところでございます。今年は台風等の影響がなくて、おいしいりんごだというメッセージがありましたが、私もいただいたのですが、本当においしいりんごでございました。

以下、ここにあるようなことがあったところでございます。

「おわりに」ということで、「別添資料」15 ページに、後を絶たない不審者ということで、毎月のように不審者が出没している状況でございます。

それから、「別添資料」16 ページは、この資料が文部科学省の政策に影響すると言っても過言ではない、いわゆる国際数学・理科教育動向調査というものがあるのですが、これが公表されたところでございます。これは特定の児童生徒を対象に行っているもので、本町の子供たちが受けたというわけではないのですが、世界の小学校4年生と中学校2年生に当たる学年を対象に調査が行われております。新聞記事をそのまま抜粋したところでございます。

報告は、以上でございます。ご意見等を賜ればと思っております。改めて阿部喜英委員のこれまでのご尽力に感謝を申し上げますとともに、少し気が早いですが、どうぞ教育委員の皆様、良いお年をお迎えしていただければと思っております。

私からは、以上でございます。

続いて、教育総務課長から報告させます。

教育総務課長 それでは、「教育総務課報告・連絡事項」といたしまして、ご報告をさせていただきます。

まず、大項目1番、日程関係でございます。

教育長の報告と一部重複する部分がございますが、ご報告をさせていただきます。

まず、実施済みでございます。

(1)第1回ブロック会議が12月3日(木)に県石巻合同庁舎でございました。

(2)小・中学校の授業参観、フリー参観となりますが、12月4日(金)、学校で開催をいたしております。

(4)です。サッポロホールディングス株式会社様からプログラミング教材(200万円相当)ということで、12月10日(木)に贈呈式が行われております。

贈呈式の終了後、第2学年・第4学年・第6学年のプログラミング教材を使用した授業風景をご視察いただいております。

(5)女川小学校の第6学年でございますが、議場見学を12月11日に行っております。今回、コロナウイルス感染症の関係で実際の議会の状況については視察できなかったのですが、事前に議場を見て、この議場を使って第6学年の学級会が開催されております。

(6)です。町議会の12月定例会が12月14日(月)から16日



(水)まで、3日間開会されております。

一般質問は10人で21件、本課所管関連は4人で行いました。産業教育常任委員会の所管事務調査報告といたしまして、小中一貫教育学校の通学路について、報告が行われました。

所管事務調査につきましては、10月27日に産業教育常任委員会の委員6名による現地調査が行われております。11月17日にまとめの委員会が開催されております。

内容につきましては、震災以前は、通学路沿いに商店や民家が建ち並んで人の目が行き届きやすい環境にあったが、現在は、町有地等の空き地が未整備である状況などや全般的に通学路が暗いと感じる印象が強かったという調査結果で行いました。

防犯灯の適切な配置が望ましい。それから、横断歩道に横断旗を設置するなどの対策についても検討されたいということで、安全対策についての検討が求められております。

防犯対策の所管課で行います町民生活課と連携をして、早急に安全対策事業の予算化に繋げてほしいというような報告で行いました。

本課といたしましては、町民生活課と協議しながら、安全対策、子供たちの防犯対策に努めていきたいと思っております。

それから、議案で行います。議案は全部で21件、一般議案が13件、補正予算が8件行いました。

先程教育長からも行いましたが、阿部喜英委員のご勇退に伴います後任といたしまして、山内哲哉氏につきましては、議会から同意の可決をいただいております。

補正予算につきましては、学校配当の消耗品費、約30万円ほどですが、小・中学校ともに増額の要求が行いました。それから、学校の電気料等につきましては増額補正が行いましたので、これらの補正について可決をいただいております。

(7)です。小・中学校のICT備品購入見積徴収を12月17日(木)に行いました。タブレット70台ほかを購入いたしております。これによりまして、児童生徒一人一台端末の整備がすべて完了するというようになっています。

(8)です。第23回新型コロナウイルス感染症対策本部会議が12月17日(木)に開催されました。

(9)第2回総合教育会議を12月18日(金)に開催させていただきました。委員の皆様にはご出席をいただきまして、ありがとうございました。

(11)になります。健康福祉課との打ち合わせを22日(火)に開

催させていただきました。内容につきましては、保小連携をテーマに、健康福祉課と協議をさせていただいたところです。健康福祉課で現在、保育所の災害復旧ということで旧女川小学校の校庭に新築整備をしてございます保育所。それから既存の保育所、それらの保育所の構想につきましても、健康福祉課からご説明をいただいたところです。

実施予定といたしまして、(1)です。教職員女川原子力発電施設の視察、本日午後から開催予定となっております。新たに女川町立小・中学校に着任された先生方、本来であれば夏休み期間に開催することとしていたのですが、新型コロナウイルス感染症の関係で夏休み中の実施が難しかったために冬場になりましたが、本日午後に視察を行う予定としております。先生方、本課職員を含めて9名参加する予定となっております。

(3)です。第2回女川の教育を考える会が1月15日(金)に予定されております。

(4)教職員研修会、本町教育委員会主催の研修会でございますが、1月19日(火)に開催する予定としております。

(5)第2回ブロック会議が1月20日(水) 県石巻合同庁舎で開催される予定となっております。

(6)鯨肉給食会が1月25日(月)に実施される予定でございます。

それから、町議会の一般質問ということで、本課所掌分を抜粋しております。4名の議員から一般質問をいただいております。木村公雄議員からは「小中一貫教育学校女川小学校・中学校の名称統一について」。次のページになります。阿部美紀子議員からは「ヤングケアラー、女川の実態は」、佐藤誠一議員からは「子育て支援策について」、隅田翔議員からは「肥満傾向児に対する施策は」という一般質問をいただいております。教育長からご答弁をいただいております。

大項目2番その他でございます。

一般事項といたしまして、女川小・中学校の冬季休業というふうにかかせていただきました。2学期終業式、小学校は22日(火)、中学校は25日(金)。3学期の始業は、小学校、中学校ともに1月8日(金)からとなりますが、中学校は1月7日に全学年を対象とした実力テストを実施する予定となっております。

それから、(2)令和3年度のおにぎり大使派遣事業について、石巻地区広域行政事務組合から別添写しのご説明がありましたということで、次のページに写しを添付しております。

例年7月、8月に実施をしておりますおにぎり大使派遣事業、2市1町の事業でございますが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の関係で中止ということでございます。それで来年度の事業はどうするのかというところでご説明をいただいております。

来年度につきまして、2番、広域としての考えというところがございます。

新型コロナウイルス感染症の治療薬やワクチンの開発状況、感染状況、感染防止対策、受け入れ国の体制確保が整うことがまず事業実施の前提となるというところで、現在の実施の見通しについては不確定な部分があるが、次年度以降については、実施が可能となった場合に向けて準備する方向で検討しているということで、実施時期については、令和3年8月11日から6泊7日で、8月17日までを予定させていただいて、予算については計上を行いますというようなお話でございました。

新型コロナウイルス感染症が収束して、子供たちがこの交流事業に参加できることを願っているばかりでございます。

それから、また前のページに戻っていただきまして、学校支援ということで書かせていただきました。

学校支援につきましては、(1)JA津軽みらい様から青森りんごのご寄贈がございました。

(2)前教育長の遠藤定治様ご夫妻様から、児童に対して絵はがきカレンダーセットのご寄贈がございました。

(3)在学中の遺児、孤児に対し、出版4団体で構成する大震災出版対策本部様から図書カードのご寄贈がございました。こうして、毎年毎年ご支援をいただいていることに感謝をしております。ありがとうございます。

それから、先程教育長の報告の中にございました、資料がなくて大変申し訳ないのですが、宮城県学校防災体制在り方検討会の調査報告書について、口頭で申し訳ございませんが、ご説明をさせていただきます。

12月14日付けで、宮城県学校防災体制在り方検討会における報告書の通知がございました。

内容につきましては、本報告書には、教育委員会や学校が地域や関係機関と連携して取り組むべき方向性について、今後、いかなる災害においても児童生徒等の命を確実に守ることができるよう、学校防災に係る関係者が一体となって盤石な学校防災体制を築いていくための提言としてまとめられてございます。

先程教育長のご説明にもありましたが、現在、小・中学校の防災マニュアルの見直しを行っているところでございます。地域、それから関係機関、防災担当と、当然ながら教育委員会も入って、防災マニュアルの見直しを今後進めていくということを確認させていただいてございます。

私からは、以上です。

教育長 ただ今、教育総務課長から出た健康福祉課との話し合いで、保小連携という言葉が出てまいりました。これはあまり教育委員会会議で取り上げていなかった言葉でございますが、教育総務課長の資料の2ページに町長の施政方針が一部載っておりますが、これに基づいて動き出したものでございます。それで、年が明けまして、いろいろな話し合いや勉強会等を行いながら、また、この教育委員会会議でも話題にしながら、いろいろご意見を賜ればと思っております。

その背景には、小学校・中学校が小中一貫教育を導入した。保育所と小学校というのは、もちろん今、教育委員ご存じのようにいろいろな連携を行わせていただいているのですが、保育所、小学校、中学校という一本の線があるのも自然な形ではないかというような町長のお考えもあり、全くそれはそのとおりでございます。では、それを具体的にどのような形にしていくかという勉強会に入ったというようなところが正直な言い方かもしれませんが、これからいろいろ話題にしていきたいと思っております。それから、場合によっては総合教育会議で、これはいつになるかまだはっきりはしませんが、町長も交えてお話をしなければならないものかなと考えているところでございます。

頭の片隅に置いておいていただければありがたいです。

続きまして、生涯学習課長から報告させます。

生涯学習課長 それでは、「生涯学習課報告・連絡事項」という資料をご覧くださいと思います。こちらでご説明をさせていただきます。まず、1番目、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策といたしまして、毎回載せておりますが、基本的には11月末までの対応を継続しまして、来年の2月28日まで実施をしていきます。2番目、社会教育施設に係る整備工事・改修工事（11月末現在）でございます。こちらにつきましては、18日に行われました総合教育会議の中でご説明を差し上げております、（仮称）清水公園グラウンド整備工事、以下5カ所になります。こちらは、3枚目以降に現況の工事報告書を各工事ごとに写真を添付しておりますので、こちらをご確認いただきたいと思います。

進捗率につきましては、整備工事につきましても順調に進んでおりまして、工期内に完了することになっております。

3番目、先程ありました12月定例議会でございます。

生涯学習課に係ります一般質問につきましては、佐藤誠一議員から、パークゴルフ場整備計画の予定、女川町ウォーキングマップの作製について、図書購入費の増額について、町内に御殿峠というところがあるのですが、そちらの遊歩道の整備と利用計画、オリエンテーリング・ウォークラリーの復活について質問がありまして、答弁をしております。

補正予算で1件質問がありまして、東北高等学校ラグビー新人大会の負担金につきましてご質問がありました。これにつきましては、来年2月10日から、予備日を入れて4日間ですが、東北6県のラグビー新人大会の代表チームが来まして、一部、二部と分かれまして、16チームが女川町に来て大会を行います。こちらにつきましては、第二多目的運動場と多目的運動場、人工芝のグラウンドを使いまして大会が開催されます。

4番、すばらしい女川を創る協議会、見守り運動。こちらにつきましては、毎月第2水曜日に下校時間に合わせて地域の方々に見守り運動をしていただいております。12月は、9日に各交差点等に立っていただいて見守りを実施していただきました。あとは1月、2月の第2水曜日に実施をする予定となっております。

5番、HLABウィンタースクールです。こちらが12月26日（土）から29日（火）までの4日間、女川町を会場にいたしまして実施されます。

開会式につきましては、26日（土）午前10時から生涯学習センターで行います。こちらにつきましてはウェブで行います。高校生の参加につきましては、女川町には残念ながら来られなくて、すべてウェブでの参加という形になります。ただ、運営する大学生が12～13名女川町に25日（金）から前入りをしまして、こちらの運営を行いながら、4日間ウィンタースクールを行うということになっております。

6番、令和3年の成人式。来年1月10日（日）に生涯学習センターで成人式を行います。こちらにつきましては、県内市町村でいろいろな対策をしながら、延期というところもありますが、女川町につきましては、収容人数も半分以下ということもありまして、例年どおりの実施になります。

ただ、女川町の来賓の人数を絞らせていただいております。今までだと区長会の方々全員の出席でしたが、区長会の会長のみ。町

議会からは、議長、副議長、各常任委員長の4名のみ。執行部でも、各課の課長に出席いただいていたのですが、代表して総務課長に出席していただきます。

主催者側からは、教育委員の皆様にご案内を差し上げておりますので、出席をよろしくお願ひしたいと思います。

来賓で約10名、主催者側10名で、成人される方々、父兄の方を優先的という形で進めさせていただきたいと考えております。7番目、令和2年度女川町体育協会・スポーツ少年団本部合同表彰式、これも例年行っております。1月24日(日)午前11時から女川町まちなか交流館で行います。

こちらにつきましても、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、表彰式の後に食事会を行っておりましたが、食事会は無しにしまして、表彰のみという形にさせていただいております。この関係もありまして、今回は来賓を絞って実施いたしますので、教育委員の方々にはご案内は差し上げませんので、よろしくお願ひしたいと思います。

8番目、学校支援になります。こちらは、小・中学校に生涯学習課で支援をしている事業になります。

12月4日(金)に、小学校で「KDDI情報モラル教室」ということで、教室を行わせていただきました。こちらは、子供と保護者の参加で勉強会という形で指導をさせていただきました。

次のページをめくっていただきまして、12月7日(月)と14日(月)に、小学校の第3学年と第1学年に「歯科学習」をさせていただきました。

9番、地域支援ということで、12月20日(日)に「親子門松づくり」ということで、震災前は行っていたのですが、震災後初めて門松づくりの教室を開催させていただきました。

6組の家族に参加いただきまして、本物の竹を切りまして、子供たちにノコギリ等を使ってもらって、親子で門松を作っていただきました。参加者の方の感想からしますと、なかなか現代で門松を子供たちが見る機会も減っている中で、門松を作って飾れるといういい経験をいただきましたという参加者からの意見もいただいております。

10番目、放課後子供教室で、12月19日(土)に「永里選手のサッカー教室」を開催させていただきました。土曜日に女川町のサッカーの経験のない子供たちも集めまして、試合形式のサッカー教室をさせていただきました。

同じく19日に、永里さんを町の観光大使に任命させていただきました。

ました。震災後、ずっと女川町に来て講演や教室の支援をいただ  
 いていて、今回、観光大使の任命式も行われました。

11 番目、おながわ放課後楽校ですが、12 月 17 日（金）に終業、  
 1 月 25 日（月）から始業という形になっております。

以降につきましては、添付資料となっておりますので、後でご覧  
 いただければと思います。

生涯学習課からは、以上です。

教育長 報告は、以上でございます。

新福委員 委員さん方、何かご質問、ご意見はありませんか。

新福委員 質問が一つあるのですが、ICTの備品が、タブレット 70 台を  
 購入するという事で非常にすばらしいなというふうに思っ  
 ているのですが、これはGIGAスクールの文部科学省からの補  
 助金で入るということですか。

教育総務課長 新しい校舎の整備を考えまして、備品に関しては、原子力発電施  
 設立地地域共生交付金を使って備品の整備をさせていただいてお  
 りました。

原子力発電施設立地地域共生交付金については、10 億 8,000 万  
 円ほどを国から交付をいただきまして、2 年間にわたって基金化  
 していたのですが、そちらの財源も工事費や備品に充当させてい  
 いただきまして、原子力発電施設立地地域共生交付金はすべて使い  
 切っているような形になっておりました。

そのため、学習用PC等の残り 2 割の整備に関しては、どの財源  
 を使って整備しようかというところで検討を行いまして、  
 新福委員が今おっしゃったように、GIGAスクール構想で今回、  
 国の補助金交付を受けられることになりましたので、そちらの申  
 請を行って、整備をさせていただきます。

その整備をするにあたりましては、申請を出して、国からは 315  
 万円の財源をいただいております。

ただ、実際の契約については 400 万円強で、若干足が出るので  
 すが、そこは町費持ち出しになると思いますが、これで残りの 2 割  
 の部分の整備も完了するというようなところになっています。

納品につきましては、年度末納品を目指して、先般契約をさせて  
 いただいた次第です。

新福委員 ありがとうございます。ぜひ有効活用できるようにと思います。

中村委員 福島県須賀川小・中学校視察ということですが、それは、やはり  
 小中一貫教育学校を主点とした視察だったわけですね。（「そうで  
 す」の声あり）だから、他県からも視察に来るということで、す  
 ばらしい、情報もそちらのほうにずいぶん届いているんだと思

ったのですが、今後、施設一体型の小中一貫教育学校というメリット、そういうものを活かした学校運営を推進してぜひ学校力の向上を図り、小中一貫教育学校のモデルとなるような学校づくりをしていただきたいと思いますと思うんです。

そのためには、情報発信はすごく大事だと思うんですね。小・中連携の授業も新聞で拝見しましたが、どんどん学校の良い点を情報発信すると、もちろん保護者はもとよりですが、地域の人たちも安心して、今学校ではこういうことが行われているんだなということで、学校への支援力も高まってくると思うので、ぜひ情報発信というものを大事にしていただければと思うんですね。

学校の良さが広まれば、「教育長報告事項」6ページに女川町への異動希望者が少ないということで書かれていたのですが、そういう魅力ある学校経営をしているということになれば、異動希望者も増えて、優秀な先生たちが来て、さらに教育力が高まっていくのではないかと思いますので、ぜひ、そういう意味でも情報発信を積極的にしていただければいいのかなと思っています。

教育長

まず、情報発信については、校長・教頭会議でも、いろいろなところにプレスリリースしてくださいと。そういうことで、乗り入れ授業しかり、ランチルームでのことしかり、とにかく今は情報発信をしようということで、校長・教頭会議でも確認しているところでございます。

ですから、昨日の終業式でもテレビ局が4社来たということで、これはなぜかという、世界からいろいろなご支援をいただいた、何百人、何千人の人からご支援をいただいた。その人たちが新聞記事あるいはテレビで、県内に限られてもいいから、テレビなどを見て、「あっ、女川だ」と。支援している人がそういうことで頑張っているんだなと思ってもらえればいいと。だから、ここ数年はとにかく情報発信をしっかりしようということで、ホームページなどを充実することや、くどいようですが、マスコミ関係へのプレスリリースなどをしっかりやろうということで確認しております。

また、私も、町村教育長会をはじめ、東北町村教育長連絡協議会等があるのですが、そこではそういうお話をさせていただいております。

この福島県須賀川小・中学校の視察は以前から予定があったのですが、ただ、コロナ禍の中で職員の視察となると、かえって迷惑をかけるのではないかとということで、内々には、本町と非常に親交がある紫波町の教育委員会の教育長からも、ただ厳しいとは言



っておりましたが、2月頃にはぜひお伺いしたいという話などもいただいております。

また、拙い原稿でございますが、いろいろな会報にも載せていただきまして、PRはしているところでございます。

まさに中村委員おっしゃったように、新聞記事を見ただけでもいろいろな反応があります。それに教員もそういう魅力を感じ取ってもらえればと思っておりますが、まだそこまでは繋がっていないというのが正直なところです。

当然異動となると、異動などそういうものもいろいろ絡んでまいります。そこに少ないようですがと書いたのですが、中学校は結構あったのですが、小学校がちょっと少なかったということで、もう少しPRもし、逆に足元のところでもう少しPRもしなければならぬとは思っております。

一方で、震災直後、私はとにかく女川町は頑張っているからいろいろな情報発信をしようということで発信をしたのです。あのとおりですね。ただ、その一方で、それが先生方に非常に負担をかけた、子供たちに頑張れ、頑張れと言い過ぎたという反省もあるのです。そこは紙一重のところがありまして、そこは様子を見ながらも、ただ、学校のいろいろなことについての情報発信はやっいていこうと。それが、先生方に負担がかかる、女川小・中学校は忙しいんだと思われても困ると。そこは本当に難しいところで、校長先生と来年度に向けての話し合いを今時間がある時にやっているのですが、その辺のところを確認しているところでございます。

ただ、中村委員おっしゃるとおりで、情報発信をしっかりとしていきたいと思っております。ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

阿部委員 今の新福委員と中村委員の話を受けてみたいな形になってしまうのですが、これだけ立派な小中一貫教育学校の施設があって、ICT教育の環境といたら、多分、宮城県で一番整っていると思うんですよね。GIGAスクール構想みたいな形で各学校にタブレットだ何だというものが配備されたとしても、それをどう活用していくかという部分で、仏作って魂入れずになりかねないような状況も今後考えられると思うんですね、正直。

本町の学校の場合は、そこはある程度これまでもやってきたので、「Qubena」というところもやってきたので、その辺の心配はあまりしていないのですが、逆にICTの部分のをこれまで以上に、女川向学館も来年以降中に入ってお手伝いいただけるという部分も

踏まえてですが、そこをもっと強く押し出すというか、そこを特  
徴的にすると、I C Tを学びたい先生が来るのではないかなとい  
う気がするんですね。何かしら特徴がないと、ただ単なる田舎の  
学校ということでは人気はないというふうになってしまうと思  
いますので、I C T面で最先端だよということになれば、これはど  
こからでも学びに来たいというふうに思う先生が出るかと思うの  
で、そこはより一層力を入れていただきたいなというふうに思  
います。

教育長

全くご指摘のとおりでございます。先般もご報告させていただ  
きましたが、石巻市の視聴覚教育の研究会をここでやってもらって、  
金子教諭が発表したところでございます。その時に存じ上げてい  
る先生方に声を聞いたら、機器が揃っている。それからプログラ  
ミング教育を進める時にキットなどを贈呈される。贈呈したあ  
あいうキットが揃っている学校はまずない状況で、こういうもの  
があるとやりやすいよねとか、あるいは、視聴覚室みたいな部屋  
があるとやりやすいよねというようなご意見をいただいたところ  
でございます。

I C Tに力を入れていくというのは、一つのこれからの柱にも  
なると思うので、阿部委員からご指摘いただいたことを十分に踏  
まえて、対応していきたいと思っております。

なお、宮城県教育委員会義務教育課でも、様子を見に来るとい  
うことで、県内にいろいろ情報発信をしてほしいということ  
を昨日お願いしたところでございます。

いずれにいたしましても、I C T関係はこれから教員には必要不  
可欠なものになってくるので、女川町に行くということ  
が学べるとか、女川町に3年いると大体できるという  
ようなものにしていきたい。それが、町長が願  
う「選択される町」、「選択される学校」  
になるのかなと思っております。

そのためには、核となる人材、先程お話ありましたが、それを  
いかに集め、あるいは、いかに育てていくかである  
なと思っております。

初任の先生方は本当に本町で身についていきますので、こちら  
から出すのは喜ばれるのですが、中村委員からご指摘があ  
ったように、ほかから同じような力の先生を呼ぶとな  
ると大変難しい状況にあるのですが、今のご指  
摘を踏まえて、頑張っ  
てまいりたいと思  
っております。あ  
りがとうござ  
います。

ほかにご  
ざいませ  
んでしょ  
うか。

横井委員

朝の地域の方の見守りを見ていて思うことなの  
ですが、かなり寒

くなくても連日のように立っていらっしゃって、本当にありがたいのですが、もう一つ気になるのは、PTAのほうの動きというか、それがどのようになっているのかなと。

せっかく町の真ん中に建てて、小・中学校一緒になってとなると、前よりもそういった形に加わることにに対する負担感というのは、だいぶ形上は軽減されてきているのかなと思うのですが、PTAで子供たちの朝夕の交通指導なり何なりの形でもし加わっていただけたら、だいぶ違うのかなと。学校に子供を送ってくることはしますが、そういう風景を見てPTAでも何とかしなければならぬのではないかという話が出ているのか出ていないのか分かりませんが、親としてというか、保護者として何らかの形で年に1回くらいはとか、昔だったら子供会単位でその地区に立つということが習慣化されていたのですが、確かにいろいろな形で忙しい時間帯に加わるのは当時でも大変だったのですが、やはり学校を支えていく父兄のその気持ちとか温かさとか、あるいは、今の先生方の話ではないのですが、校長先生がうまく指導して、アピールではないのですが、いろいろな形で学校を見てもらうとかするというそういったことに対して、その時だけではなくて、普段から父兄の強力な支援の形があるという学校であれば、より先生方も安心して取り組めるのかなというふうな感じがしますので、ちょっとしたことなのですが、そういったことで父兄がより学校に対して自分でできる範囲をちょっとずつ示してもらえような形を取っていただければ。一番最初はこの位置で地域全体を支える学校みたいなという役割もあるので、ぜひ、いわゆる保護者層もしっかりとこういう姿を見せるような形が取れたら、ありがたいのだけどというふうに思っています。

教育長

これについてはPTAでも話題になったようで、あるいは教頭先生からも話があったようで、毎日こういうふう立っていただいていることに感謝を申し上げます。やはり何かPTAでやらなければならないのではないかというような話は出ておまして、特に中学校では、毎月15日に自分の家の前に立って子供たちに一声かけようという運動をやっさいこうというような動きは出てまいりました。

ただ、今言ったことは非常に大事なことで、立っている人たちが当たり前みたいな雰囲気も無きにしもあらずで、そこはもう一度、校長先生、教頭先生方に話して、今、子供会等はないにせよ、声かけ運動などそういう具体的な何かの形でPTAも一緒に活動できるような動き、流れというものをつくっていかねばならぬ

いと思っております。

ただただ、毎年、感謝、感謝だけで、感謝の会をやったからいいと。これはこれで大事なことなのですが、やはりそれだけでは、これからずっと続くことなので、だめかなと思っております。

この辺のところを再度、校長先生、教頭先生方と話をし、またPTA役員会などでも話題にさせていただいて、みんなで子供たちを支えていくというような体制というか、ムードというか、つくっていきたいと思っております。

ありがとうございます。

ほかにございませんでしょうか。

中村委員 防災マニュアルの見直しというお話が出たのですが、ここでは、地区の方もメンバーとして入った防災推進協議会を組織として設立しているんですか。

教育長 まだしていません。

中村委員 まだそこはいいいなんですね。その方向性についての検討などは。

教育長 それらも含めて防災マニュアルを作る時はいろいろご意見等をいただき、もちろんこの場でもいろいろなご意見をいただいたのですが、それを今回、こういう検討会議が出してきたと。教育総務課長が先程説明しましたが、それを受けてもう一回する時に、そういう組織をつくって検討するか、あるいは、いろいろな関係者に聞きながらやっていくかも含めて、昨日話をしたところでございます。

中村委員 今後は、組織としての協議会的なものの設立を目指すかどうかというのはまだ、はっきりとしてはいないのですか。

教育長 本当に今来ばかりなので、昨日、校長先生に今後の在り方についてこの冬休み期間に考えようということで、中学校の校長先生を中心にこれから、まず学校で案を出してもらって、それを教育委員会と一緒にやってやはり組織はつくらなければならないだろう、あるいは、あのマニュアルは本町でもいろいろな意見を聞いて吟味したので、もう一回関係者に聞くだけでいいのではないかなとか、どのようになってくるか今待っている状況でございます。

中村委員 そうなんですか。震災後に、学校が中心とするわけなのですが、地域を巻き込んだ防災推進協議会の組織設立というようなことがよく言われて、私などもそれこそ、その後学校として立ち上げて、地域の方ももちろん主としたメンバーということで設立してきたのですが、それが今どのような運営をされているか分かりませんが、ただ、避難所の運営などとなった場合には、学校だけではな

教育長

かなか運営しきれないことがありますので、その地域の方たちのメンバー組織としての活動がすごく重要になってくると思うのですね。ですからやはり、早い段階で組織として地域のメンバー、あるいは関係省庁というか、その辺のメンバーを入れた組織づくりというものは早くしておく必要があるのかなと思うのですが、女川町はそこまでの必要感はないのかなとは思っていますが。

その組織がどのようなメンバーで、どのような組織をつくって、それが、形骸化ではないのですが、そのようにだけはならないようにしようということをもとに話をしました。やるのだったらこのような形でと。

一番本町で弱かったのは、町の首長部局の企画課危機管理監との連携が薄かったという反省のもとで、この見直しをする時に、危機管理監等と相談しながら、あるいはいろいろな地域の人と相談しながら最終的にまとめていったほうがいいのか、それとも、新たな組織をつくって、そこでその都度その都度やっていったほうがいいのかということで、冬休み中に検討しようということで投げかけたところでございます。

ただ、これまでは町のいろいろな大きな方針を踏まえて女川町の場合にはつくってきたという経緯はあります。ただ、そこでの連携というか、例えば小・中学校に1人安全担当の主幹教諭が配置されております。これは小・中学校一緒で。その教諭と町の危機管理監との連携がちょっと薄かったという反省がこれまであったので、昨日、それらも含めて、今後の進め方について確認したところでございます。

組織をつくってやったほうがいいのか、それとも、いろいろな人の意見を聞きながらやっていったほうがいいのかというようなこと、だったら一緒に集めて一回でやったほうが早いのではないかという意見が昨日出たことは確かでございます。

ただ、それらについて、一番は形骸化にならない、形式的にならないように、実効性のあるものにしなければならないというのがこの検討会議の報告でございますので、それを地域と一体となってやるという指摘をいただいておりますので、それを踏まえてやっていきたいと思っております。

ただ、災害というのは明日くるかもしれないので、ずるずるとはできないということはいつも話しています。そこを検討させていただきたいと思っております。そのような流れで今やらせてもらっています。

ほかにもございませんでしょうか。

- 12 その他  
教育長 (発言なし)  
なければ、6番「その他」に入ります。  
事務局で、その他、何かございませんか。  
教育長 (発言なし)  
なければ、来月の日程を組ませていただきたいと思います。  
〔1月28日(木)午前10時からということで調整〕  
教育長 28日木曜日ということで組ませていただきます。  
それでは、令和2年第14回教育委員会は、これで終了させていただきます。
- 13 閉 会 午前11時05分

- 14 この会議録の作成者は、次のとおりであります。  
教育総務課 課長補佐 今村 等

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

令和3年1月28日

会議録署名委員

3番委員 .....

4番委員 .....